

## 与那国島に関する主要歴史年表

Historical chronology concerning important matter of Yonagunijima Island

西暦	年号	事 項
1477	成化13	朝鮮漂流民が与那国島に漂着する。那覇へ送りとどけられ、王府が朝鮮へ送還する。
1500	弘治13	宮古島の仲宗根豊見親の嫡子・仲屋金盛が八重山島の赤蜂討伐の途次与那国入りを企てたが、サンアイ・イソバによって撃退される。
1501	弘治14	尚真王は仲宗根豊見親の次男祭金を八重山島の頭に任命する。八重山島頭職の始り。
1510	正徳5	尚真王は西表島の祖納堂を与那国与人に任命した。ここから初めて与那国島は琉球中山王の支配下に置かれる。
1522	嘉靖1	尚真王は仲宗根豊見親に命じて、与那国島の住人ウニトラ(鬼虎)を討伐せしめた。
1611	万暦39	薩摩の役人毛利内膳正元親来島、与那国島の測量を行い、初めて検地帳を作製する。
1628	崇禎1	八重山25ヵ村を行政上、大浜・石垣・宮良の三間切に区分。各間切には頭を置く。与那国島、波照間島、西表島の古見等の枢要な村には頭の候補者である首里大屋子を配置。
1632	崇禎5	八重山に在番制度を設け、在番を配置する。
1637	崇禎10	人頭税制を施行。農民の悲劇始まる。
1641	崇禎14	八重山に薩摩の大和在番を置く。
1768	乾隆33	八重山の村数が32ヵ村に増加したので、各間切の管轄区を変更。与那国島は間切外に置かれ、特別行政が行われた。
1774	乾隆39	与那国島の松原夫婦の孝を褒奨す。与那国島女人加良差の節義を奨す。
1796	嘉慶1	八重山与那国村の宇江城、米・芋を餓者に与へて以て人命を済ふの善行を褒賞す。
1801	嘉慶6	与那国島祖納村の船筑松原仁屋の善行を嘉奨し、筑登之之位を賜ふ。
1835	道光15	八重山の所属与那国島の登野城仁屋の善行を褒嘉して以て爵位を賜ふ。
1839	道光19	与那国島への首里大屋子の配置を改め、与人を配置するようになる
1854	咸豊4	八重山島与那国村の松田を褒嘉して爵位を賞賜す。
1855	咸豊5	八重山島与那国村の登野城を褒嘉して爵位を賞賜す。
1862	同治1	八重山島与那国村の宮良仁屋、喜佐麻宮良を褒嘉して爵位を賜ふ。
1864	同治3	八重山与那国村の多和津登野城を褒嘉して爵位を賜ふ。
1865	同治4	与那国島に多くの物件（板片・帆桁・縄・金器等）が流来する有り。
1874	同治13	八重山島属内与那国島の洋面に夷船一隻の漂来する有り。

1875	光緒1	八重山島鬚川村の伊志津登野城を褒嘉して赤冠を賞賜す。
1876	光緒2	八重山島宗納村の鍋我謝を褒嘉して赤八巻位を賞賜す。
1879	明治12	廃藩置県の布告と同時に、在番制度も廃止。在番代理に組属が任命される。
1880	明治13	6月に八重山島役所を蔵元内に設置し、在番代理を八重山島役所長と称する。初代役所長岡本浅雄。
1884	明治17	5月に与那国島医師診断所設置、5カ年後に廃止。
1885	明治18	与那国島、西表島に役所出張所を設置し、初代の与那国出張所長は斎藤速太。6月に与那国小学校創立。
1888	明治21	那覇警察署与那国分署が設置され、初代分署長は大警部村山。7月に与那国小学校を与那国簡易小学校と改称。初代訓導は上江洲由恭。
1893	明治26	4月に与那国簡易小学校を与那国尋常小学校と改称。初代訓導は指宿良右衛門。八重山病院出張所を再建し、初代出張医は内藤泰助。
1895	明治28	与那国分署を廃止、八重山警察署の管下に入る。祖納と比川に巡查駐在所設置。
1897	明治30	与那国に村頭を置く。初代村頭糸洲正興。
1901	明治34	4月に比川に与那国尋常小学校分教場設置。
1903	明治36	人頭税制度廃止。
1904	明治37	5月に与那国尋常小学校を尋常高等小学校と改称。
1908	明治41	与那国は八重山村の一字となる。与那国尋常高等小学校を与那国尋常小学校と改称。
1912	大正1	八重山村議員定数20名のうち、字与那国から初めて2名の議員選出。初代議員は入波平保久利と松田長明。
1914	大正3	八重山村より分離し与那国村となる。初代村長森田孫詳。7月に村会議員の選挙実施。入波平保久利、松田長明、佐久川加那、佐久川亀、野底津加、宮里松、入松田石戸、美崎伊佐、外間守徳、玉城山戸の10名が当選。
1917	大正6	4月に与那国尋常小学校に2カ年制の高等科を併置し、与那国尋常高等小学校と改称。
1920	大正9	沖縄県町村制特例を廃止、普通町村制になる。7月に村会議員の選挙実施。仲高嘉尚、前竹伊佐真、金城三多、崎原永一、大屋宇田真、崎原亀、松本真吉、本竹伊野加、小嶺山戸、入福浜兼、仲島幸利、入石垣松の12名が当選。8月に議員による村長選挙実施、初代民選村長は真境名元輔。与那国村立実業補習学校設置。
1926	大正15	6月に久部良分教場設置。無集配三等郵便局設置。初代局長は新里和盛。
1945	昭和20	太平洋戦争・沖縄戦終結。
1947	昭和22	与那国町に昇格(12月)。
1949	昭和24	3月に与那国中学校設置認可。
1950	昭和25	3月に与那国中学校久部良分校設置認可。

1958	昭和33	10月に与那国町体育協会設立。
1960	昭和35	与那国製糖工場設立。
1961	昭和36	1月に水道開通式。
1963	昭和38	2月に与那国町文化財保護条例公布。
1965	昭和40	民間航空路開設。
1967	昭和42	全島電化。
1972	昭和47	沖縄の日本復帰。
1973	昭和48	2月に与那国町文化財保護調査委員会条例公布。
1977	昭和52	2月にダイヤル電話開通（全国）。
1985	昭和60	「与那国島の祭事の芸能」が国の重要無形民俗文化財となる。

〔註〕年表の作成にあたっては、主に池間栄三『与那国の歴史』（1959年）及び与那国町教育委員会『与那国町の文化財と民話集』（1992年）、『球陽』をもとに作成した。（萩尾俊章）